

1

TUL

経尿道的尿路結石碎石術

勤務前に見返せる
実践ポケットnote

術前・術後の 観察ポイント

保存版



2

TULってなに？

尿道から内視鏡を入れ、
尿管や腎臓にある結石を
砕いて取り除く手術です。



- ・尿道から内視鏡を挿入
- ・結石の位置を確認
- ・レーザーで結石を破碎
- ・可能な範囲で結石を回収
- ・必要時は尿管ステントを留置

内視鏡で行う
尿路結石治療のひとつです。

3

どんなときに行う？

- ☐ 自然排石が難しい
- ☐ 痛みが続いている
- ☐ 尿路閉塞や水腎症がある
- ☐ 腎機能への影響がある
- ☐ ESWLで治療が難しい
- ☐ 早期の結石除去が必要



結石の大きさ・位置・硬さ、
感染の有無などから
治療方法が選択されます。



4

術前に確認すること

- ☐ 発熱・悪寒・側腹部痛
- ☐ 尿検査・尿培養
- ☐ WBC・CRP
- ☐ Cr・eGFR
- ☐ 抗凝固薬・抗血小板薬
- ☐ 結石の部位・左右・術式
- ☐ アレルギー・麻酔歴
- ☐ 感染性閉塞の有無



⚠ 感染を伴う尿路閉塞は
敗血症リスクがあるため要注意。

5

看護師の術前準備

- ① 手術指示・同意書を確認
- ② 絶飲食の時間を確認
- ③ ルート確保・抗菌薬投与
- ④ 疼痛・排尿状況を確認
- ⑤ 術衣・移送の準備
- ⑥ 申し送り内容を整理
- ⑦ 不安や疑問を確認する



❤️ 小さな確認の積み重ねが
安全な手術につながります。

6

術後観察① バイタル・全身状態

- ☐ 体温
- ☐ 血圧・脈拍
- ☐ 呼吸数・SpO₂
- ☐ 意識レベル
- ☐ 悪寒・寒戦
- ☐ 悪心・嘔吐
- ☐ 疼痛の部位・程度

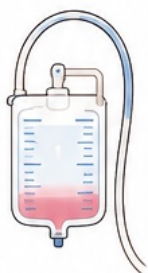


⚠ 発熱や悪寒・寒戦は
尿路感染のサインかもしれません。
尿路性敗血症を
見逃さないことが重要です。

7

術後観察② 尿・排尿

- ☐ 尿量・排尿の有無
- ☐ 血尿の程度
- ☐ 血塊の有無
- ☐ カテーテルの屈曲・閉塞
- ☐ 排尿痛・頻尿
- ☐ 尿意切迫感
- ☐ 側腹部痛・下腹部痛
- ☐ 尿管ステント留置の有無



🩸 軽い血尿はみられることがありますが、
増強する場合は報告します。

8

合併症と注意サイン

尿路感染・尿路性敗血症

- ・発熱、悪寒、寒戦
- ・頻脈、血圧低下
- ・意識変容



尿管損傷・穿孔

- ・強い側腹部痛
- ・腰痛
- ・血尿の増強



尿管浮腫・閉塞

- ・尿量低下
- ・側腹部痛の持続
- ・腎機能悪化



その他

- ・出血、血尿
- ・残石
- ・ステントによる
頻尿や痛み



9

こんな症状は すぐに報告！

- ☐ 発熱・悪寒・寒戦
- ☐ 頻脈・血圧低下
- ☐ 呼吸苦・SpO₂低下
- ☐ 尿量低下・無尿
- ☐ 強い側腹部痛
- ☐ 鎮痛薬で改善しない痛み
- ☐ 血尿の増強・大きな血塊
- ☐ 意識変容



⚠ 発熱＋頻脈＋血圧低下は
尿路性敗血症を疑う危険サインです。
迷ったら早めに報告します。

10

TULの看護まとめ

① 術前

感染・検査データ・
内服薬を確認



② 術後

発熱・尿量・疼痛・
血尿を観察



③ 最優先

尿路性敗血症を
見逃さない



保存して

勤務前の確認に使ってください。



フォローして

一緒に看護を復習しよう。

※医療情報は一般的な内容です。
実際は医師の指示・施設基準に従ってください。

※イラストはイメージです。

